

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホームさくらんぼ須屋

作成日 : 平成24年5月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議が隣接の事業所で開催されているが、今後は会議の前・後にホーム内を見てもらう機会を設ける事で、更に状況に応じた意見やアドバイスに繋がると思われる。又、参加していない家族へも会議内容の報告が望まれる。	利用者家族や職員の参加を促し、地域と施設側との交流や意見交換の場として更に活用していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の予定を家族に知らせ参加を呼び掛ける ・会議の議事録を玄関のボードに掲示する ・交代で職員も参加できるようにする 	12ヶ月
2	10	今後も当たり前や何気ないホームの日常的な取り組みについて、家族に報告する機会を積極的に発信する事で、家族の安心や信頼に繋がっていくと思われる。	家族へホームが行っていることや考えをきちんと発信し、意見や情報を得て運営に反映する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞又は広報誌を作成しホームの様子を家族に伝える ・行事のときは家族にも参加していただき意見交換の場を設ける 	12ヶ月
3	33	今後は看取り支援を含め終末期支援についても対応していきたい意向であり、ホームの方針を確立し、本人・家族の意向を確認する機会や必要に応じた職員研修の開催に期待したい。	本人・家族の要望を聞き、重症化・看取りに対する理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの基本方針をきちんと固め、本人・家族との話し合いの場をつくる ・勉強会を行いスタッフのレベルアップに努める ・家族や主治医との密な連携に努める 	12ヶ月
4	35	夜間想定の実施の訓練の実施や備蓄の検討、日々の安全チェックを記入に残す事で職員の意識付けに繋がると思われる。又、災害対策についての取り組みについてはその都度、家族へも報告する事で安心に繋がると思われる。	夜間想定などを組み入れた災害訓練を定期的に行うことで認識を高めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない人数で誘導や連絡がスムーズにできるよう家族や近隣の方へ協力を得て夜間想定避難訓練を行う ・食料の備蓄の確保に取り組む ・定期的に建物、避難経路などの点検を行う 	6ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。